

在宅生活支援事例①

地域包括ケアシステムによる自立支援
—周囲の支えを受けながら一人暮らしを続ける—

老年期認知症 両膝OA 高血圧
80歳代女性 要介護2 持ち家 独居

在宅生活を送る上での課題

下肢筋力低下及び両膝関節痛による転倒や膝の負担、食事や身の回りの活動、服薬管理が可能か否か、さらに認知症による不安や混乱を認めていました。

在宅サービスの関わり

訪問リハにて、身体機能評価や動作分析、適切な福祉用具の選定と環境調整を行いました。また、認知機能・身の回りの活動評価を行い、訪問看護やケアマネ、デイサービス、ご家族と情報を共有し、関わりの注意点や支援体制の構築に向けた話し合いを行いました。

在宅生活の継続

内服について、精神科主治医と訪問看護へ内服頻度の調整等を提案し、訪問看護による朝・夕のセットをご家族と近隣住民、サービス支援者らが協力することで、毎日の服薬忘れを解消することができました。

膝痛と転倒について、適度な運動の導入と動作指導、ベッド・座椅子を配置したことで、膝痛転倒はみられなくなりました。

本人にとって大切な「仏壇のお供え」について、ご家族や近隣住民の協力を得て、習慣化することができ、在宅生活を継続できるようになりました。



外来診療のご案内

外来受付時間	午前9時～午後12時まで
外来診療時間	午前9時30分～午後12時まで
休診日	日曜日・祝日・ 年末年始（12/29～1/3）

内科外来担当医師

赤字は女性医師

リハ外来は予約制

	月	火	水	木	金	土
1診	右原	林	右原	水本	眞島	リハ 外来
2診	神田	大塚	中川	坂本	神田	林

赤字は女性医師

精神科外来担当医師

	月	火	水	木	金	土
1診	田原	岸本	平井	井上雄	もの忘れ 外来	当番医
2診	洪	田原	松本	嶋吉	石川	嶋吉
3診	杉山	中井	井上慶	洪	前田	当番医
5診		中島			坂本	こどもの 心

もの忘れ外来、こどもの心（児童思春期）外来は予約制
(0745-64-2069)

～無料シャトルバスのお知らせ～

八木方面 ○近鉄 大和八木駅（南側ローソン前）
檀原方面 ○近鉄 檀原神宮前駅 西出口
○JR 玉手駅（踏切南側）
高田方面 ○近鉄 御所駅（バスロータリー内）
○JR 高田駅（西出口側ロータリー内）
○近鉄 大和高田駅（正面ロータリー前）
令和3年8月2日



無料シャトルバス



時刻表



乗車位置

No.13 2022年10月1日発行

医療法人 鴻池会

秋津鴻池病院 ニュース 10

2022 October



秋津鴻池病院

認知症支援の現場から①
認知症支援委員会の紹介
山本認知症看護認定看護師に
聞いてみた！

在宅生活支援事例 ①

地域包括ケアシステムによる自立支援



【お問い合わせ】

秋津鴻池病院 医療相談課（9時～16時30分）
➤ 医療機関 入院相談専用
FAX：0745-64-2078

➤ 当日緊急対応が必要な場合
内線番号1149（9:00～17:15）

〒639-2273

奈良県御所市池之内1064

TEL：0745-63-0601 FAX：0745-62-1092



認知症支援の現場から①

- 認知症支援委員会の紹介
- 山本認知症看護認定看護師に聞いてみた！



精神科 医長
井上 慶一

秋津鴻池病院は、
老年精神神経医学会
専門医が4名、認知症
看護認定看護師が1名
おります。

内科病棟入院中の
認知症の患者様に対し
ては、上記の専門医と
認定看護師が内科病棟
を毎週ラウンドし、

BPSDなどでお困りの患者様に対する治療
や看護の相談を行っております。

当院では認知症の患者様に対し内科的ア
プローチだけでなく精神科的アプローチも
行うことで、患者様とご家族により満足頂
けるよう取り組んでおります。



病棟ラウンドの様子

血液検査、内服状況、既往歴、せん妄、
環境設定など、綿密な意見交換が行われ
ます。

お仕事の魅力を教えてください。

⇒笑顔が見れた時が最高！

自分たちの関わりで、笑顔が見
れた時は、最高にモチベーション
が上がります。

認知症支援で意識して
いることはありますか？

支援のコツとも言えますが、
感情面での支援や五感に
働きかけることを意識して
います。

ご家族の支援は
されてますか？

相談があれば、対応させて頂き、
家族様が安心して頂けるように
コミュニケーションを図り、
信頼関係を築けるよう努力して
まいります。

今後の課題と取り組み

高齢化が進む中で、認知症者も増えています。そ
の中で、認知症者が安心して住みなれた地域で生活
（地域包括ケアシステム）できるように当法人では取
組んでいます。その取り組みを知らない方がまだま
だおられますので、今後はそれらの活動を行ってい
きたいと思っています。そのためには、もっと認知症看
護認定看護師の育成も必要になってきます。当院で勤
務している看護師の中で認知症看護に興味を持ってい
る方を発掘し、後輩の育成も行っています。

また、在宅医の先生方の下へ訪問した折には、是非
お困りごとをお聞かせください。

医療従事者へひと言！

高齢者の医療機関受診は、不安
と恐怖などで混乱し、せん妄や
BPSDが出現しやすくなります。大切なことは、その人の思
いなどを傾聴し、その人が納得
できる医療を提供することです。



山本妙子看護師
（認知症看護認定看護師）
に聞いてみよう！

もう少し早く…

家族が、認知症の認識を持ってお
られたら違った選択があったかもし
れない事例を紹介します。

夫に対する嫉妬妄想が強く、夫が
寝ている時に首を絞めようとして入
院となりました。日常生活動作は自
立されており、同居の夫と長男夫婦
は認知症に気づいていませんでした。
夫が10年前に脳梗塞を患って以来、
彼女が介護をしていました。入院時
の診断は、アルツハイマー型認知症、
病期は初期～中等度のレベルでした。
本人は、夫への「行為」を覚えてい
ません。

しかし、自分が夫の面倒をずっと見
てきたことは覚えているため「あの
人どうしてるのかしら」「早くこ
から出して」と訴えます。徐々に落
ち着きがみられ、夫との面会が許可
された際、夫に対し暴言を吐き、別
人のような表情で殴りかかってしま
いました。

夫の若い頃の浮気を、まるで今のこ
とのように興奮されます。アルツハ
イマー型認知症という疾患により、
昔の出来事であるということが理解
できずに起きたトラブルでした。こ
うなると、当然自宅に帰ることは困
難です。

たとえ、日常生活動作は自立して
いても自宅では暮らせない、もう少
し早く認知症の症状に気付いていれ
ばと悔やまれる事例でした。

山本看護師の活動歴

- ・2016年に認知症看護認定看護師の資格を取得
- ・奈良医大にて、認知症看護認定看護師の活動と
して、看護実践、指導、相談を経験
- ・現在、秋津鴻池病院にて活躍中